

問1 1467年に発生した応仁の乱は、その後の日本の政治情勢にどのような決定的な変化をもたらしましたか。（2026年 栃木公立入試 類似）

- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 将軍の権威が大きく衰退し、実力のある者が上の立場をしのご「下剋上」の風潮が強まり、戦国時代へと突入した | 2. 幕府がキリスト教の布教を禁止したため、フランシスコ・ザビエルが九州から国外へ追放される事態となった | 3. 天皇中心の政治を復活させるため、地方の武士が京都に集結し、建武の新政に次ぐ新しい朝廷政治が確立された | 4. 守護大名が団結して幕府を支える体制が整い、幕府による全国支配がより強固なものとなった |
|--|--|---|---|

問2 室町時代の外交について、足利義満が明（みん）との貿易において「勘合」を用いた目的として、最も適切な記述を選びなさい。（2017年 富山県公立入試 類似）

- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 東シナ海などで活動していた「倭寇」と呼ばれる海賊と、幕府が公認した船を明確に識別するため。 | 2. キリスト教の宣教師が貿易船に紛れ込み、国内で布教活動を行うのを未然に防ぐため。 | 3. 輸入される宋銭の量を制限し、国内の物価が急激に変動するのを抑えるため。 | 4. 明から派遣された使節団に対し、将軍が日本の王であることを誇示する儀式として用いるため。 |
|--|--|--|--|

問3 北山文化を代表する建築物である鹿苑寺金閣（金閣）の構造に関する説明として、最も適切なものはどれですか。（2023年 愛媛公立入試 類似）

- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 一層と二層を寝殿造風の住宅とし、三層を禅宗の仏殿風とした三層構造の楼閣建築である | 2. 建物全体を簡素な書院造とし、禅の精神を重んじるために装飾を排した二層構造の建築である | 3. 外壁に金箔を貼らず、銀を基調とした色彩でまとめられた質実剛健な武家造の建築である | 4. すべての階層を唐様（禅宗様）の仏殿として統一し、大陸の建築技術を完全に再現した建築である |
|---|---|---|---|

問4 ボッティチェリの絵画「春」に代表される15世紀の新しい文化運動と、同時期に進められた海外進出の背景について説明した文として、最も適切なものはどれですか。（2025年 愛知公立入試 類似）

- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 人間性の解放を目指すルネサンスの精神が広がる中、東洋への関心や航海技術の向上により、コロンブスがスペインの援助で大西洋を渡った。 | 2. 教皇の権威が頂点に達したことで、神中心の文化がより強固になり、聖地奪還を目的とした大規模な海外遠征が頻繁に行われた。 | 3. 宗教改革の影響でカトリックの勢力が衰退したため、新たな布教先を求めてポルトガルの航海士たちが大西洋の島々に到達した。 | 4. 封建社会が崩壊し、国王の権力が弱まったことで、各地の領主が自由な貿易を求めて独自の判断で新大陸への探検を開始した。 |
|---|---|---|--|

問5 室町時代に足利義満が明との間で開始した貿易では、明の皇帝からの文書に周辺諸国の王が挨拶に訪れている様子が記されており、日本からの貢ぎ物に対して礼をもって対応する形式がとられました。このように、相手国の皇帝の臣下となる形式をとることで成立した正式な外交および貿易関係を何といいますか。（2019年 静岡公立入試 類似）

- | | | | |
|---------|--------|---------|----------------|
| 1. 朝貢貿易 | 2. 私貿易 | 3. 自由貿易 | 4. 不平等条約に基づく貿易 |
|---------|--------|---------|----------------|

問6 室町時代、日明貿易（勘合貿易）を利用して中国の明に渡り、現地の技法を学んで日本独自の水墨画を大成させた禅僧は誰か答えなさい。（2021年 高知公立入試 類似）

- | | | | |
|-------|-------|---------|---------|
| 1. 雪舟 | 2. 運慶 | 3. 狩野永徳 | 4. 葛飾北斎 |
|-------|-------|---------|---------|

問7 室町幕府の第八代将軍であり、京都の東山に慈照寺（銀閣）を建立したことで知られ、簡素で落ち着いた文化を育んだ人物は誰ですか。（2015年 山口公立入試 類似）

- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 足利尊氏 | 2. 足利義満 | 3. 足利義政 | 4. 足利義持 |
|---------|---------|---------|---------|

問8 三代将軍の足利義満が明（中国）と国交を結び、勘合を用いた貿易を開始したことは、当時の日本経済にどのような変化をもたらしましたか。その背景と影響について述べたものとして正しいものを選んでください。（2019年 広島公立入試 類似）

- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 明から大量の銅銭が輸入されたことで、年貢を貨幣で納める代金納が広まるなど、貨幣経済が社会に深く浸透した。 | 2. 庸や調といった古代からの税制を維持するため、明から輸入した銀を全国の農村へ配布する仕組みが整えられた。 | 3. 地租改正によって土地の価格に応じた現金納税が義務付けられ、それに対応するために明との貿易額が制限された。 | 4. 国内の貨幣不足を解消するために金座や銀座が設置され、独自に鑄造した金貨や銀貨が勘合貿易の決済に使われた。 |
|---|--|---|---|